

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

購読の申しこみは
日本医労連へ
購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替 00160-6-84866
ホームページ http://www.irouren.or.jp/
電子メール n-ask@irouren.or.jp

(昭和36年9月15日)
第三種郵便物認可

介護の未来をかえていこう!

2026介護要求実現! 全国学習交流集会



2月15日〜16日に兵庫・姫路キャッスルグランヴィリオホテルで、2026年介護要求実現! 全国学習交流集会を開催し、1全国組合18県医労連から59人が参加しました。

集会は森田進中央副委員長による開会あいさつのもと、公益社団法人認知症の人と家族の会の和田誠共同代表理事が記念講演を行いました(別掲)。

特別報告

和歌山からは谷口考平書記長(介護対策委員)が、施設でのハラスメントと賃金削減問題を告発し、議会を動かし、改善を実現した労働組合と地域住民の取り組みを報告しま

した。北海道からは道東勤労の三坂敬一書記長が「介護でつながらぬ」をテーマに、労働組合の立場から、①介護職員とつながらぬ②自治体とつながらぬ③地域の事業所とつながらぬという三つの実践について報告し、まずは一歩踏み出すことの重要性を語りました。

新潟からは新潟県民労の吉田美里副委員長が、結成から10年目を迎える新潟県医労連介護対策委員会のこれまでの歩みと、県やブロックを越えた学習会や自治体要請などの取り組みを報告し、今後の決意を力強く表明しました。

「私の要求」分散会

分散会は3分散会6グループに分かれ、KJ法を用いて「働き続けられる職場の改善」を中心テーマに「困っていること(低賃金・人手不足など)」を出し合いながら「私の要求」について議論しました。

分散会後の全体会ではグループごとに発表を行いました。

病棟分散会では、「介護の未来を良くするために議員へ働きかけを行い、来年は介護報酬改定のため介護集会参加者を増やして、みんなで報酬増を実現したい」「低賃金・人手不足・ゆとりがない、課題はつながっているため、介護制度の抜本改善が必要だ」と思う。また、義務教育に介護を盛り込みたい」などの決



分散会の様子

公益社団法人認知症の人と家族の会の和田誠共同代表理事が記念講演を行いました。社会保障審議会介護保険部会委員でもある和田氏は、2027年の介護保険制度改正の議論における内容と問題点について報告しました。

議論では、中山間・人口減少地域対策として訪問介護への包括報酬導入や地域別制度設計が打ち出され、全国一律の給付という原則が揺らぎ始め、地域間格差を拡大させる恐れがあると指摘。また、2割負担対象の拡大など利用者負担増の議論について、物価高騰下で高齢者の生活を直撃し、利用控えや生活困窮を招きかねないと批判されました。

「介護保険制度は誰のための制度なのか」 ～2027年介護保険法改正の議論から～

記念講演

ケアマネジャーの法定外業務の切り分けや有料老人ホーム入居者のケアプラン有料化は、生活を支える相談支援の後退や自己責任化の強まりにつながる懸念を示しました。介護保険は財政や事業者のためではなく、保険料を払い利用する国民の生活を支える制度であるべきであり、利用者と家族の尊厳と生活を守る制度運営と社会的合意の形成が不可欠だと強調しました。

脈路

医療労働者が平和と反戦を訴える意義は、専門性の延長線上にある。そう感じさせる映画だった。「医の倫理と戦争」は戦時下で医療が国家目的に動員され、命を救う倫理が踏みじられていく過程を描いている。同時に現在の医療現場が抱える問題を掘り下げたドキュメンタリーだ。医療は本来国境や敵味方を超えて人の尊厳を守る営みである。その現場に立つ者は、戦争がもたらす深い傷や喪失を誰よりも具体的に知っている。世界では分断と武力衝突が連鎖し、軍拡の論理が増殖している。日本も例外ではない。衆議院選挙で自民党・高市政権が圧勝し、米国のとの不均衡な同盟関係を背景に防衛費の更なる増大が見込まれる。医療や福祉教育に振り分けられる資源はますます減らされていくだろう。さらに近隣諸国との対立をある発言や「非核三原則」の見直し、「安保三文書」の前倒し改定、「憲法改正」の姿勢も示した。じわじわとそして着実に「戦う体制」が作られようとしている。人間の尊厳を守る医療と、それを否定し破壊する戦争。いのちと日々向き合う医療労働者だからこそ、歴史から学び平和を選ぶ社会を求め続ける責務がある。戦争はある日突然始まるわけではない。「戦う体制」が出来上がる前に、手遅れになる前に、命を守る専門職として、日々のケアの延長として、声を上げていこう。



2025年介護施設夜勤実態調査結果記者発表

2025年介護施設夜勤実態調査記者発表 2交替夜勤9割超 16時間夜勤約9割

2月13日に厚労記者会で「2025年介護施設夜勤実態調査」結果について記者会見を行い、10報道機関が取材、厚労省が傍聴に訪れました。

記者会見では、介護施設の2交替が91.1%と約9割を占め、そのうち、87.5%が16時間以上の夜勤をしている状況を発表。今年で13回目となるが、大きな改善傾向は見られず、状況はすっと変わらず高止まりしていると訴えました。また記者会見の中では、



2月20日、厚労記者会で「医療・介護・福祉労働者の賃上げで、安全・安心の医療・介護・福祉の実現を求めるアピール」記者会見を行いました。

26春闘アピール記者会見 賃上げなくして改善なし

最初に佐々木悦子中央執行委員長は、現場の奮闘にもかかわらず、医療・介護・福祉の賃金は世間の賃上げの波から取り残されており、政府が示した賃上げに資する報酬改定率も物価高騰に追いつかず不十分であり、人手不足・医療崩壊を止められないと指摘。そのため3月12日はストライキを構え、賃上げ要求と同時に政治に対しても抗議を示すと述べました。

続いて全医労は、昨年は賃金が全く上がらず、新採用者の年収が国家公務員と比較して80万円も低いため、昨年・一昨年と採用予定人数より1000人近く不足していることを報告しました。全厚労は

2025年に実施された夏期一時金減額が職員の生活設計を直撃し、退職者の増加、病棟閉鎖・病床制限を余儀なくされていると報告しました。全日赤は昨年ベア回答があるも、実施が11カ月遅れであることを報告。また一時金が経営の調整弁にされていると告発し、ベアはあっても年収ベースでは賃金が上がっていないと指摘しました。全労災は夜勤の状況について、1人月8日以内という労働協約があるにも関わらず、19年間も協約が守られていないことを告発。夜勤ストと始業時1時間ストの2段階の闘争を報告しました。全JCHO病院労組は人員確保や賃上げを求め



て職員署名を行い、理事長や厚労大臣に提出すると報告。また職員アンケートでは、慢性的な人手不足によりハラスメントやサービス残業の強要が報告されたと告発しました。国共病組は昨年10月施行予定であった育児介護休暇制度において、3歳から小学校就学前までの時短勤務拡充が採用されず、子育てとの両立に限界を感じ次々と退職者が出ていると報告しました。東京医労連は毎年春・秋と賃上げ運動に取り組んでいるが、定期昇給が精一杯という結果が続いていると報告。さらに職員は、勤務先病院の倒産を心配しながら働き続けていると訴えました。

全体会では各組織の26春闘の準備状況と現状の課題、職場の状況、組織強化・拡大の現状と課題、新歓の準備等が報告されました。翌日行われた分散会では全体会と同じ討論の柱にそって3班にわかれ活発な意見交換が行われました。組合への参加をどう増や

26春闘 対話を意識して 仲間ふやしに取り組もう 仲間ふやし&みんなの助けあい交流集会



2月14日、「仲間ふやし&みんなの助け合い交流集会」をオンライン開催し、28アクセス44人が参加しました。26春闘勝利にむけ、仲間ふやしに取り組むことを意思統一しました。

好事例共有し、今からでも1つからでもすめよう
集会は、単組・支部での仲間ふやしの取り組みや共済を活用した好事例を交流し、すべての組合が「仲間ふやしの実践」に踏み出すことを目標に開催しました。

集会冒頭で、油石博敬書記次長(組織共闘局長)は、組織強化拡大3カ年計画の進捗状況を報告したうえで、「どこも組織拡大には苦慮している。大会時の組織実数は減っているが、拡大数でいえば前年より増え、プラスに転じている。そこに確信をもって、今日の事例を共有し、今からでも話し合うことから1つでもすめよう」と呼びかけました。

齋藤由美子中央執行委員長から「仲間をふやすにはBOO(お金の流出)を減らすことが重要」と述べ、意思統一閉会しました。

「K」の活用が呼びかけられ、新歓成功の秘訣として、3つの近い(年齢・職場・職種)先輩からの声かけと、まずはやってみることが次につながることを強調されました。

3つの事例報告&交流
倉敷医療生協労組の藤原章伍書記長からは、単組青年部で行った「韓国訪問ツアー」を通じて、青年活動未経験だった仲間が青年部役員も担い、団交で発言してくれるようになったという一筋に活動できる仲間ふやしの経験が語られました。

最後に森田進中央執行委員長が「26春闘には大幅賃上げという労働組合に課せられた絶対的課題がある。要求実現のためには課題が山積する職場に働きかけ語っていくことが重要。4月からの新歓も奮闘しよう」と述べ、意思統一閉会しました。

関する決意が語られました。●全医労帯広支部の松尾陽介書記長からは、専従のいない支部内での組合実務の任務分担の工夫が報告されました。共済実務について、「共済は助け合いを制度化したもので、誰か一人の善意に頼ってはいけない」と語った。共済実務を代行錯誤した経験が語られました。

共有と共感で運動前進 全国医科系大学労組26春闘対策会議



特別報告
記念講演は、米沢哲書記長が「26春闘賃上げをどうたたかいてくるか」と題して講演しました。

名市大教職組より
1つ目は、名市大教職組の浜畑彩音書記より、「新歓・コーヒープレイクの取り組み」と題して、新歓や組織拡大の取り組みについて報告いただきました。報告では、3つの柱に沿った取り組みのポイントが話されました。第1の柱は新人研修で組合紹介、第2の柱は支部・部会主催の歓迎会、第3の柱はコーヒープレイクの歴史が紹介されました。2010年から始まったコーヒープレイクでは、ドーナツを会議室に準備し休憩

全体会・分散会
すか、どうしたら組合の必要性の理解につながるかと熱い討論が交わされました。よりよい医療の提供のために必要なのは人員不足の解消が大切であり、それには賃上げと処遇改善を求めることが大切と改めて確認した集会成为りました。

「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」の学習動画をまだ見ていない人は、ぜひ一度ご覧ください！各1分半～2分の短い動画です。

より良い働き方編



リスクを知ろう編



署名を集めよう編



学習資料は下記 URL
または QR から☆

<https://x.gd/3pfLM>



学習動画見ましたか？



岩手医労連学習会参加者

「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」の取り組みが各地ですすんでいます。1年目の取り組み目標である「学習強化」を実践するために、各所で夜勤・長時間労働の有害性や署名の持つ力などについて旺盛に学習会が開かれています。日本医労連本部に届いたニュースから抜粋してご紹介します。

青森

青森県医労連は、11月29日に開催した「2025看護・介護学習交流会」を開催。はじめに元日本医労連中央執行委員長の田中千恵子さんから「日本医労連の運動の歴史と課題」と題した講演、続いて松田加寿美書記次長が「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」の学習を行い、その後3つに分かれてグループワークを行いました。参加者からは「病棟で2交替導入の動きがあるが、自分た

岩手

岩手医労連では、12月14日に「36協定・夜勤の有害性を学ぶ学習会」を開催。36協定について、全労連の土井直樹厚生労働局長から「36協定と労働法制改悪のねらい」と題した講演の後、労働法制や労働基準法の解体により職場にどんな影響が出るか、グループで

新潟

新潟県医労連では羽賀泰子書記長（日本医労連看護対策委員）が4日間に渡り、お昼休

東海北陸

東海北陸地方協議会では、12月14日に行われた春闘討論集会にて、アクションプランの学習企画が設けられました。企画ではまず「夜勤規制Q&A」を読み合わせた後、

東海北陸地方協議会の勤務表点検の様子

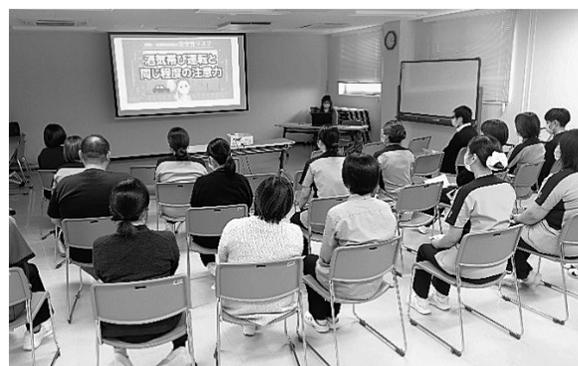


みを利用して30分ごとの「夜勤規制と大幅増員」学習会を実施。夜勤実態調査の結果や夜勤の健康リスクについて知ると同時に、署名のちからについても事例を交えて学習。4日間で282人が参加しました。「1人

愛知県医労連の近藤直己書記長（日本医労連看護対策委員）が長時間夜勤の有害性について紹介。続いて全医労愛知地区協の長尾実書記長が、全医労豊橋支部が行っている勤務表点検を説明し、参加者で実践しました。全医労豊橋

福岡

福岡県医労連は、11月18日に看護女性委員会主催で、夜勤についての学習会を開催。佐々木悦子中央執行委員長から諸外国の働き方や夜勤の有害性等についての講演の後、グループ討議で「夜勤規制制度を整える必要性を確認しました。学習会を通じて、署名運動に奮闘する決意を固めました。



新潟昼休み学習会の様子

え、ILOから日本政府に改善勧告を示してもらうことができたらお願い、懇談を希望したと説明しました。続けて、松田加寿美書記次長より「2025年度夜勤実態調査」「2022年看護職員の労働実態調査」結果から看護現場の実態を報告。森田副委員長から過労死事例として、国立循環器病センター看護師・村上優子さんの「公務災害認定の経緯、発がんリスクとして、医労連共済の給付状況資料などを用いて説明を行いました。

日本の夜勤実態等について ILOとオンラインで懇談

2月3日、日本の看護師が置かれている過重労働の実態について、オンラインでILOと懇談しました。

懇談には、佐々木悦子中央執行委員長はじめ5人の本部役員と全労連国際局から布施恵輔事務局長、寺園通江氏にも参加いただきました。ILOからは、部門別活動局専門官・医療担当のマレン・ホプフェ氏、労働者活動局専門官・医療担当のクレイソン・コイ1氏、労働者活動局・アジア太平洋担当のアリエル・カストロ氏の3人が参加されました。

冒頭、佐々木委員長のあいさつの中に、森田進中央副執行委員長から懇談趣旨として、国際的な視点から見ると、日本国内で改善を求めて運動を長年続けていることを報告。そのうえで、国際機関に働きかけを行い、日本政府に改善を求めていく必要があると考

え、ILOから日本政府に改善勧告を示してもらうことができたらお願い、懇談を希望したと説明しました。続けて、松田加寿美書記次長より「2025年度夜勤実態調査」「2022年看護職員の労働実態調査」結果から看護現場の実態を報告。森田副委員長から過労死事例として、国立循環器病センター看護師・村上優子さんの「公務災害認定の経緯、発がんリスクとして、医労連共済の給付状況資料などを用いて説明を行いました。

ILOのみならずからは、看護師の深刻な実態が詳細にわかる大変貴重な資料であり、これらを今後どうにかしていくのか一緒に考えたいと話され、今後も懇談の機会を持つことを確認しました。

「言いたい劇場」

小菅りや子



3月4日～5日「日本医労連中央行動」のご案内

修正版

◆3月4日(水)「3・4 国会議員要請・意思統一集会」

※会場確保の都合で、2カ所での開催となります。

10:45 受付開始

11:30 意思統一集会

①参議院議員会館 講堂 (全国組合・東北・中国・四国・九州)

②ビジョンセンター永田町6階 (北海道・関信・東海北陸・関西)

※ビジョンセンターは14時までの使用となるため、議員要請準備は①参議院議員会館講堂で行います。

13:00 昼食休憩・国会議員要請行動

※まとめ集会は行わず、財務省前へ移動します。

16:30 財務省前宣伝行動(～17:00 終了予定)

◆3月5日(木)日本医労連「政府要請行動」

10:00～政府要請(総務省は13:30～)

※厚労省要請の看護・医療・労働については、会場確保が困難だったため、要請参加者は以下の会場、厚労省の対応はオンラインとなります。

厚労省(看護): ビジョンセンター・801B(オンライン)

(医療): ビジョンセンター・802(オンライン)

(介護): 厚労省会議室(対面)

(労働): 参議院会館会議室・B105(オンライン)

文科省: 文科省内(オンライン希望者がいれば対応)

総務省: 総務省内(オンライン併用)

【パズル解答】1867号の答えは「モウズグハル」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。
【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を3/19(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】〒110-0013 台東区入谷1-9-5 「日本医労連教育宣伝局」 FAX: 03-3875-6270 E-mail: kyosen@irouren.or.jp



●赤字で職員も増えず、夜勤手当等で生活給を補うのではなく手当がなくても心配なく暮らせるよう診療報酬引き上げの声を引き続きあげていきます!(岩手・副業は辛い)

●給料改定、人員不足、生活心身的に疲弊しています。(新潟・アクビ)

●大雪で雨どいが壊れてしまいました。通勤も命懸けで大変な日々でした。春が待ち遠しいです。(新潟・しょうちゃん)

●医療労働者に春はなかなかきませぬ。(青森・相馬貴之)

●もうすぐ春ですわね。北海道はまだまだ寒くて暖かくなる日が待ち遠しいです。(北海道・めろんぱん)

●診療報酬の改定による労働環境の変化が気になります。(新潟・KT)

●大雪で雨どいが壊れてしまいました。通勤も命懸けで大変な日々でした。春が待ち遠しいです。(新潟・しょうちゃん)

●医療労働者に春はなかなかきませぬ。(青森・相馬貴之)

●もうすぐ春ですわね。北海道はまだまだ寒くて暖かくなる日が待ち遠しいです。(北海道・めろんぱん)

ザ・クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8	9		
10		11	12		
13		14		15	
16		17		18	
19		20		21	
22	23		24	25	
26			27		

答え A B C D E F

- #### ■ヨコのカギ
- ひなまつりに飾る餅
 - 「浮城記」は……文学
 - ホタルグサは……草
 - 国際郵便
 - 人の住む家
 - ……! あっぱれ!
 - 茶色、英語では?
 - きず、欠点、あやまち
 - 英大衆紙「ザ・……」
 - プロフィール
 - ……腐。納……
 - キツネは……神社の使い
 - 席を定めず立ったまま食べる……パーティー
 - やさしくて慈悲深い母
 - ブタンとも呼ばれるミカン類で最大の果実
 - 中国の通貨は……元

- #### ■タテのカギ
- 眠れない夜に数えまつ春の彼岸の中目
 - 三人寄れば文殊の……
 - 人気漫画「……の刃」
 - 低い……ヒール
 - 足首の両側の突起骨
 - マリモで有名な湖
 - 売り家と……様で書く三代目
 - 虫が……と動いている
 - 互いに顔を知る仲
 - 美川憲一のヒット曲の一つ「……の女」
 - 「彼はナイス……だ」
 - 都市の中心地帯
 - 髪を結ぶ飾りの一つ
 - サザエの……焼き
 - あまちゃんのロケ地

被災されたらまず報告を

医労連共済だより

記録的大雪など自然災害が続いています。雪害も火災共済の給付対象となります。初期対応で大切なのは、①医労連共済への報告(住宅災害状況報告書の提出)②被害の写真(屋根などの場合は業者見積りの際に撮影を依頼して下さい)③罹災証明と修復のための見積りです。詳細は、パンフレットを参照して下さい。対象外に注意

風水害の給付は、実損額ではなく、損害に応じて段階的に限度額が設定されています。ただし、経年劣化

記録的大雪など自然災害が続いています。雪害も火災共済の給付対象となります。初期対応で大切なのは、①医労連共済への報告(住宅災害状況報告書の提出)②被害の写真(屋根などの場合は業者見積りの際に撮影を依頼して下さい)③罹災証明と修復のための見積りです。詳細は、パンフレットを参照して下さい。対象外に注意

風水害の給付は、実損額ではなく、損害に応じて段階的に限度額が設定されています。ただし、経年劣化

医療の眼

確定申告の時期となり 昨年未もらった源泉徴収票を見直しています。

率直に税金が高いと感じました。「税金は公平に負担するもの」と学生時代に教わったような気がしますが、そうではないことを社会人になってから知りました。ご存じの方も多いと思いますが、「子ども・子育て拠出金」というものがあります。これは、子ども支援や子育て支援事業の運営に充てられる税金であり、事業主が全額を負担します。厚生年金保険に加入している事業所は納付義務が発生します。

また、「子ども・子育て支援金」は、2026年4月から徴収が始まり、健康保険料と併せて徴収される税金となります。労使折半となるため、皆さんも負担することになります。国はこの支援金を財源として、こども未来戦略「加速化プラン」の取り組みを実施するとしています。負担額の試算では、年収400万円では384円/月、年収600万円では575円/月となっています。

子どもたちや子育てなどに充てる趣旨は、理解できますが、本来であれば国がしっかりと今ある財源から出すべきではないかと思えます。

防衛力強化に所得税

2027年1月からは所得税も変わります。東日本大震災の復興予算に充てられている「復興特別所得税」が現行の2・1%から1・1%に引き下がりますが、所得税の1%に相当する税が増え、防衛力の強化に充てられることとなります。当面は増税なしとなっていますが、私たちの運動で変えが、復興増税の課税期間が延長される形になるため長期的な負担は増えます。

3月4日中央行動

対政府中央行動が迫ってきました。25年秋の行動では、「夜勤規制・大幅増員署名」の紹介賛同議員が衆参合わせて96名となりましたが、衆議院の解散・選挙をうけて、衆議院の紹介賛同議員は大幅に減る結果となりました。

多くの議員に「夜勤規制・大幅増員署名」の紹介議員になっていただければ、事前に地元選出の議員事務所へ連絡し、アポイントを取って当日のご参加をお願いいたします。

いま取り組んでいる「夜勤改善や大幅増員」署名を国会で採択させるためにも、一筆でも多くの署名を集めましょう。

櫻井 順一